



ゆめ・みらい百人会議 始動!!

ひやくにんかいぎ

市民の手によるまちづくりを進めていくため設置した「ゆめ・みらい百人会議」が10月19日、初めての全体会を開催し、本格始動しました。全体会では、委員への委嘱状の交付のほか、活動日程や総合計画の説明などが行われました。

☎企画調整課 ☎ 36-7120

10月19日、第1回島田市「ゆめ・みらい百人会議」全体会が、市役所会議棟の大会議室で開催されました。

百人会議は、年齢や性別、社会的な地位や立場を離れ、島田市の未来を自由に語り合い、まちづくりへの夢を描く場として設置されました。「広報しまだ」などでメンバーを募集したところ、151人の応募があり、112人が委員に決まりました。委員の内訳は、男性が72・3%、女性が27・7%。年代別では、20～30歳代が14・3%、40～50歳代が28・6%、60歳以上が54・5%で、最年少が23歳、最高齢は86歳です。

初会合となるこの日は、委員103人が参加。初めに染谷市長が「百人会議を通じて『行政に任せられるだけでなく、自分たちにも何かできるのではないか』と、新たな活動を始めてくれる人が出てくれることを期待しています」とあいさつ。「行政として百人会議の活動をしっかりサポートしていきたい」と百人会議にかける思いを述べました。その後、委員を代表して川井大輔さん（吉田町）に、委嘱状が交付されました。



あいさつする市長



全体会の様子

百人会議の代表には、大石武義さん（阿知ヶ谷）、副代表に大池真由美さん（旭一丁目）を選出。大石代表は「人と人とのつながりを深め、一人一人が自立することが百人会議の目標でもあります。楽しい会議にしていけば、周りの人が寄ってきます。明るいまちづくりに邁進したいです」と抱負を述べました。

会議終了後には、市長との意見交換会が行われ、「百人会議の位置づけは」「百人会議の意見などを行政はしっかりと受け止めてくれるのか」などといった質問がありました。

委員の任期は2年。当面は「市総合計画後期計画」の策定に合わせ、計画の7つの章ごとに設置した分科会に分かれて話し合います。来年1月に開催される第2回全体会では、各分科会の話し合いの結果が、市に提出される予定です。

障害者の生の声を届けます



メンバーの皆さんは、市民の代表という意識

を持っていて「活発な意見が出るのではないかと期待ができる会議でした。私自身、障害を持っている者として、いろいろな障害を持っている人たちの生の声を会議に出していきたいと思っています。百人会議を通じて、私たち市民の声を行政としてしっかりと受け止めていただき、まちづくりに反映されることを望みます。

地域のブランド化を目指します



私は、百人会議で「買ったてみた

い、住んでみたい」、そんな島田市の地域ブランド化をメンバーと一緒に考え、大きな流れを作り出していきたいらと思えます。それが文化として地域に定着することを願っています。市民と行政の二人三脚で百人会議を進めていき、それが確実に位置づけられるように、行政としての理解とフォローをしていただきたい。